

霧島山の火山活動解説資料（平成21年4月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

新燃岳

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴気がみられており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性がありますので、火山灰等の噴出に警戒が必要です。
平成20年10月29日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 4月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図1）

白色の噴煙が火口縁上50～500mの高さで推移しました。

・地震や微動の発生状況（表1、図1、図2）

火山性地震の月回数は3回（3月：8回）と少ない状態でした。

火山性微動は、観測されませんでした（3月：なし）。

・地殻変動の状況（図4、図5）

GPSによる連続観測では、長期的に続いていた山体膨張を示す変化は2008年8月22日の噴火以降、認められなくなりました。

表1 霧島山（新燃岳） 最近1年間の地震・微動回数（2008年5月～2009年4月）

2008～2009年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	25	4	4	1005	204	77	32	28	29	35	8	3
微動回数	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0

※この資料は気象庁のほか、東京大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」、「数値地図10mメッシュ（火山標高）」を使用し（承認番号：平20業使、第385号）、『数値地図25000（地図画像）』を複製しています（承認番号：平20業複、第647号）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）福岡管区气象台ホームページ（<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>）で閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成21年5月分）は平成21年6月9日に発表予定です。

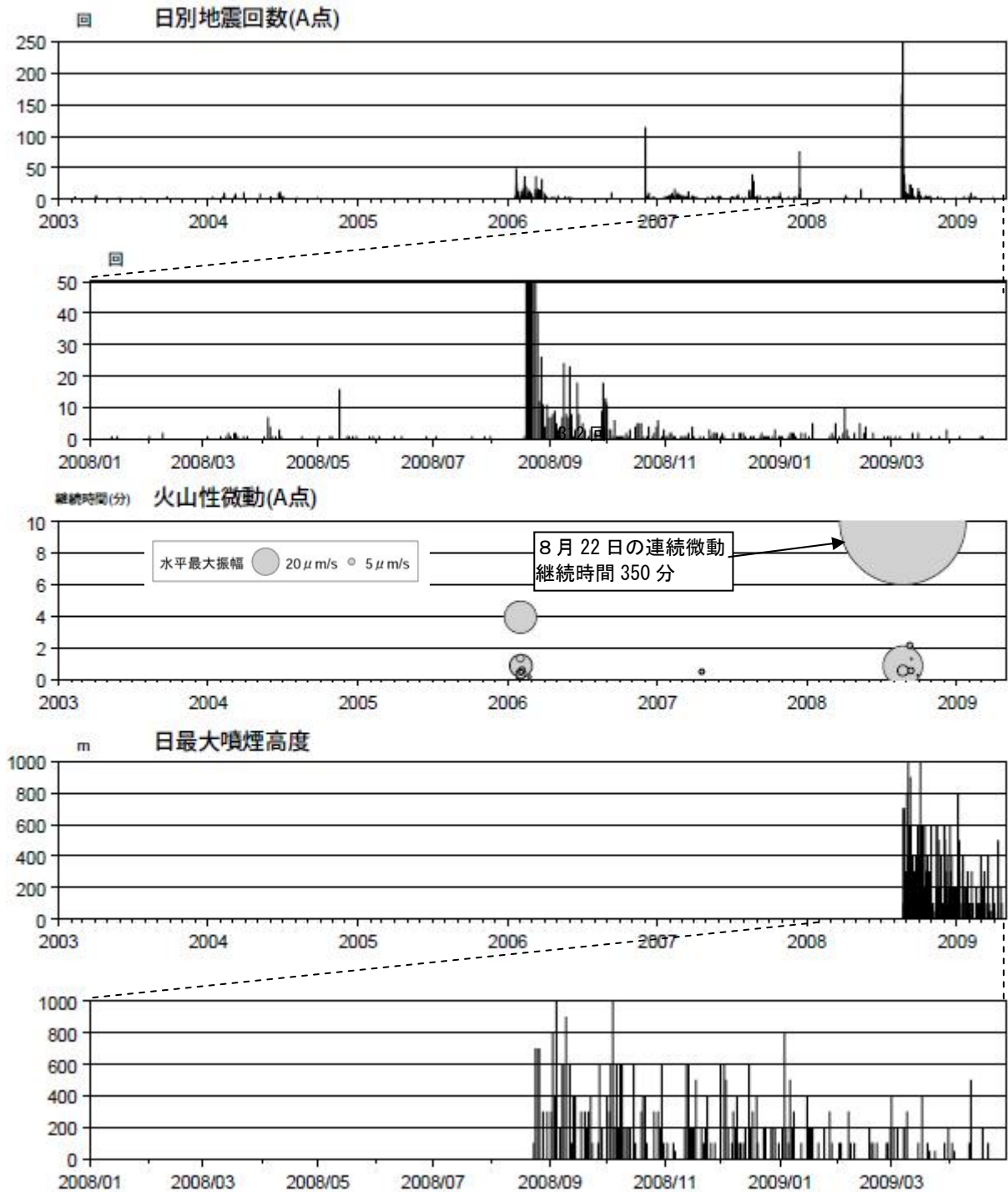


図1 霧島山（新燃岳） 火山活動経過図（2003年1月～2009年4月）

- ・ 白色の噴煙が火口縁上 50～500mの高さで推移しました。
- ・ 火山性地震の月回数は、少ない状態でした。
- ・ 火山性微動は、観測されませんでした。

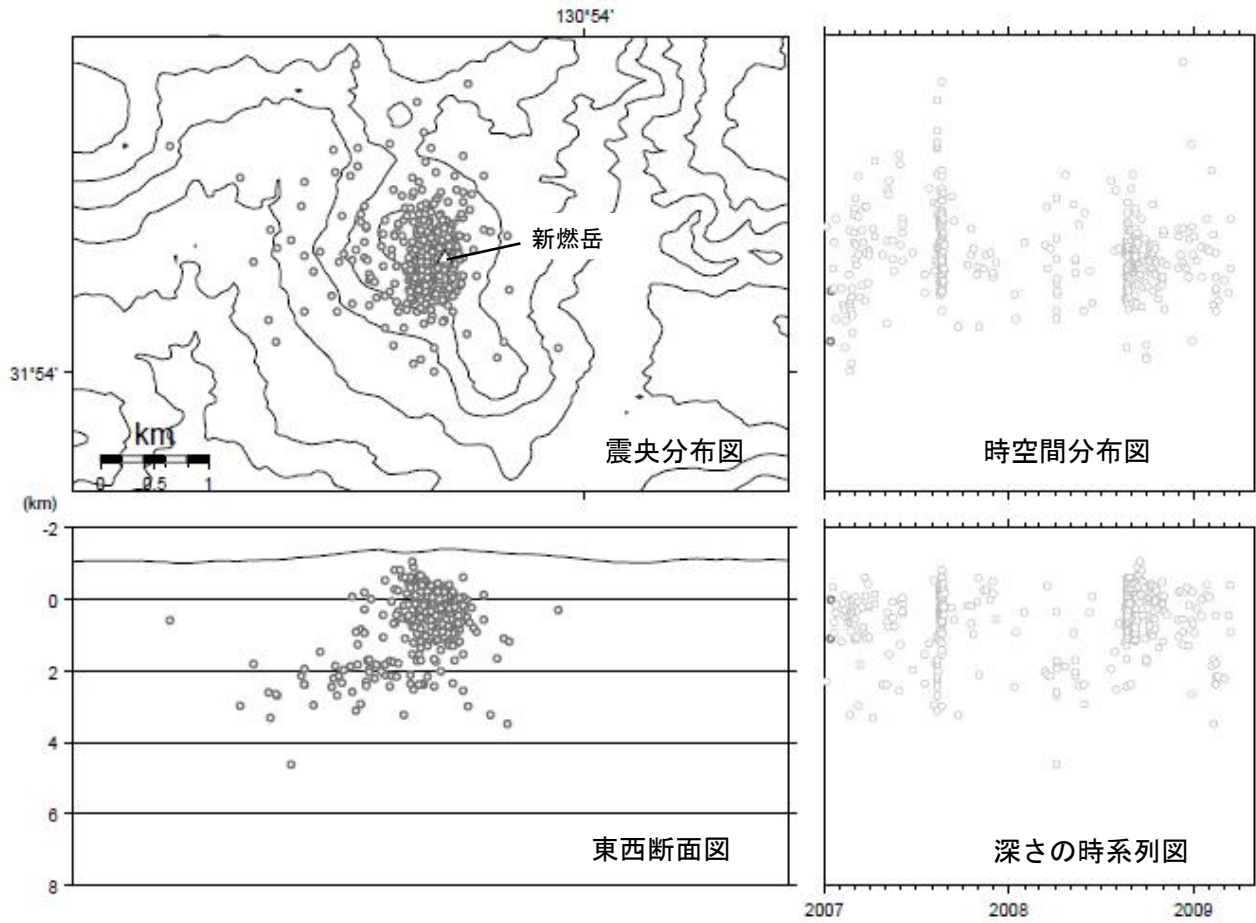


図2※ 霧島山（新燃岳） 震源分布図（2007年1月～2009年4月）
 今期間、震源の求まる火山性地震はありませんでした。

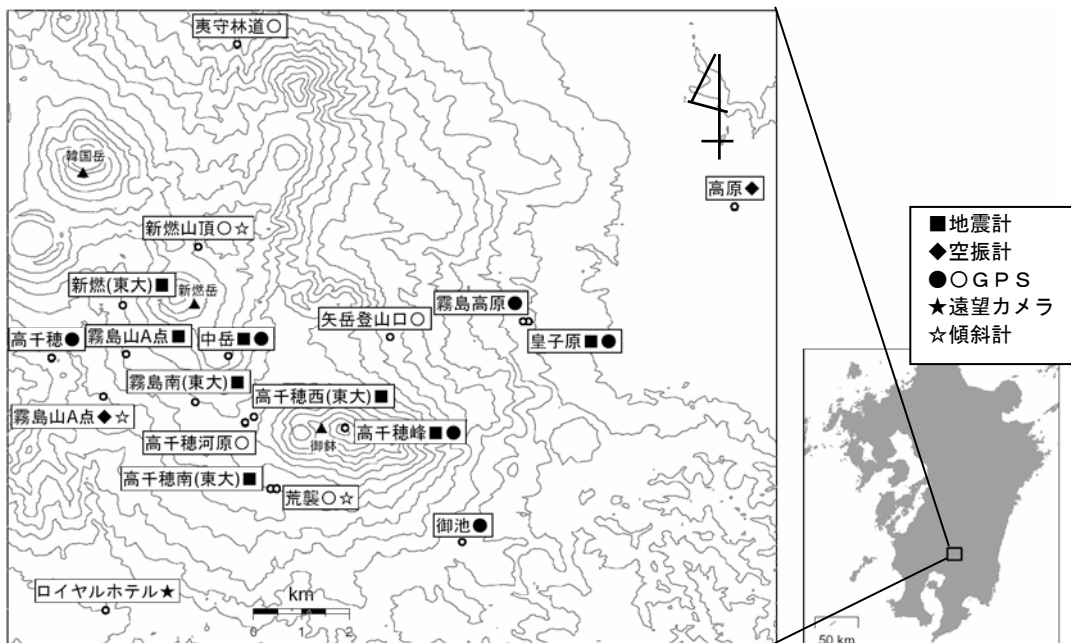


図3 霧島山 観測点配置図

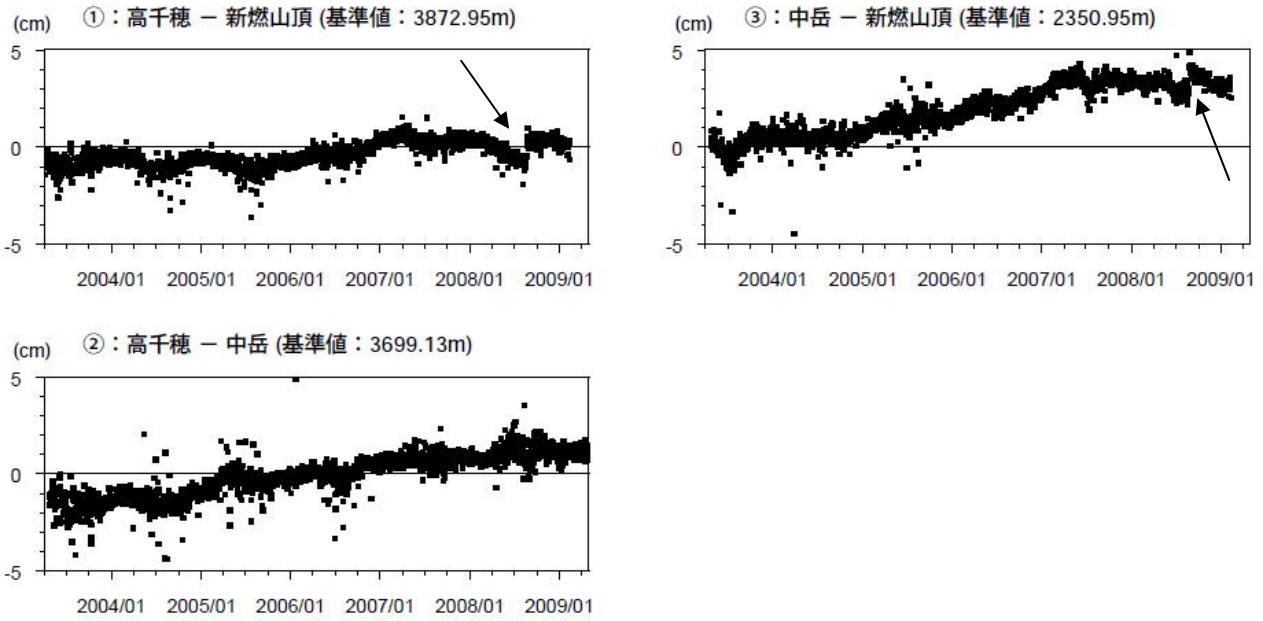


図4 霧島山（新燃岳） GPS 連続観測による基線長変化（2003年4月～2009年4月）

新燃岳で長期的に続いていた山体膨張を示す変化は2008年8月22日の噴火以降、認められなくなりました。

新燃岳を囲んだ3観測点の基線による観測を行っています。この基線は図5の①～③に対応しています。

* 矢印の基線長の変動は、噴火時に新燃岳西側に亀裂が生じたときのものです。

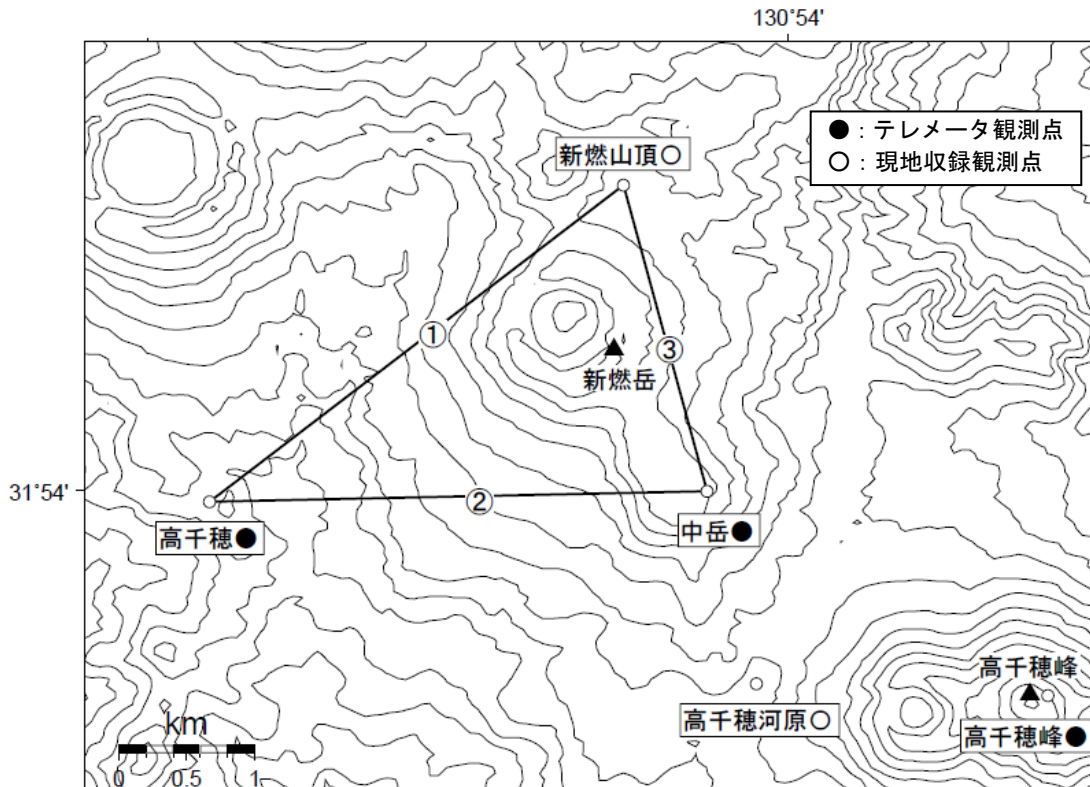


図5 霧島山（新燃岳） GPS 連続観測点と基線番号

御鉢

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 平成19年12月1日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 4月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図7）

火口縁を超える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（表2、図6、図7）

火山性地震の月回数は、9回（3月：8回）と少ない状態で経過しました。震源は主にお鉢火口直下の深さ0 km付近に分布しました。

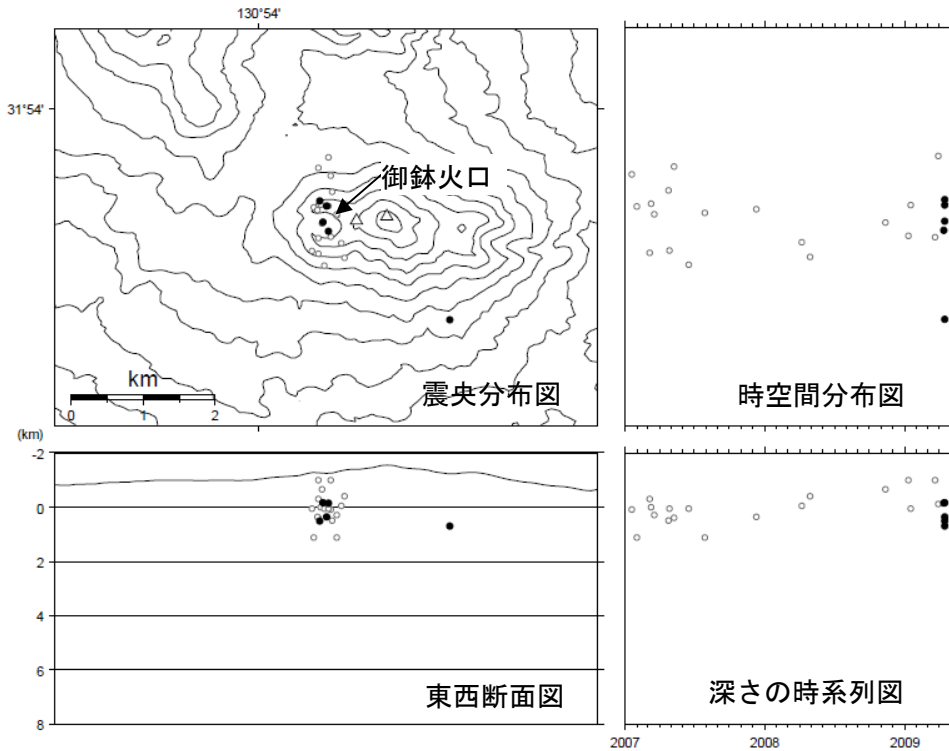
火山性微動は観測されませんでした（3月：なし）。

・地殻変動の状況（図8、図9）

GPS連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

表2 霧島山（御鉢） 最近1年間の地震・微動回数（2008年5月～2009年4月）

2008年～2009年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
地震回数	0	5	1	1	0	2	1	2	7	2	8	9
微動回数	0	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0



● : 2009年4月の震源
 ○ : 2007年1月～2009年3月の震源

図6※ 霧島山（御鉢） 震源分布図（2007年1月～2009年4月）
 主に御鉢火口直下の深さ0 km付近に分布しました。

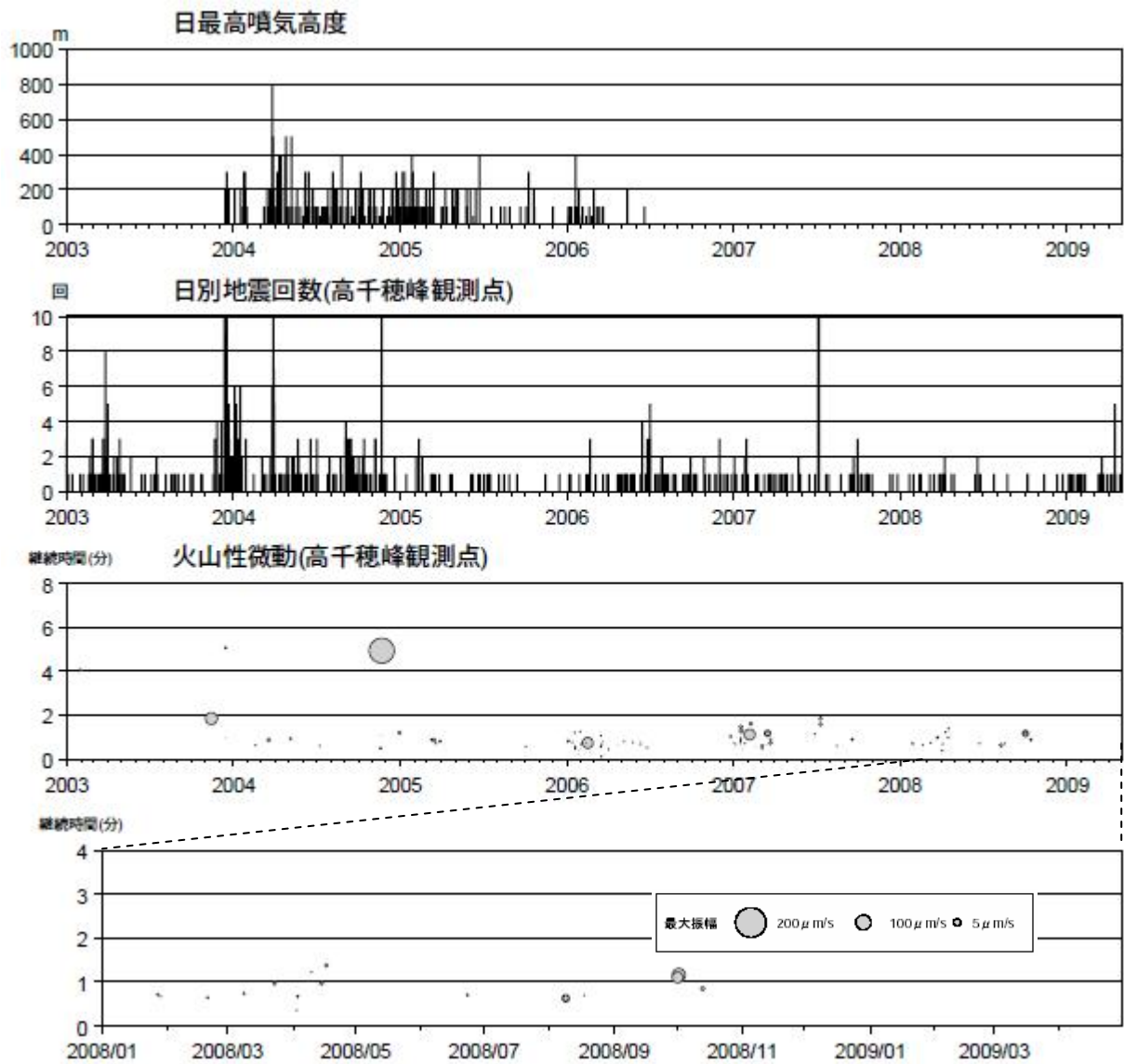


図7 霧島山（御鉢） 火山活動経過図（2003年1月～2009年4月）

- ・ 火口縁を超える噴気は観測されませんでした。
- ・ 火山性地震の月回数は、少ない状態でした。
- ・ 火山性微動は、観測されませんでした。

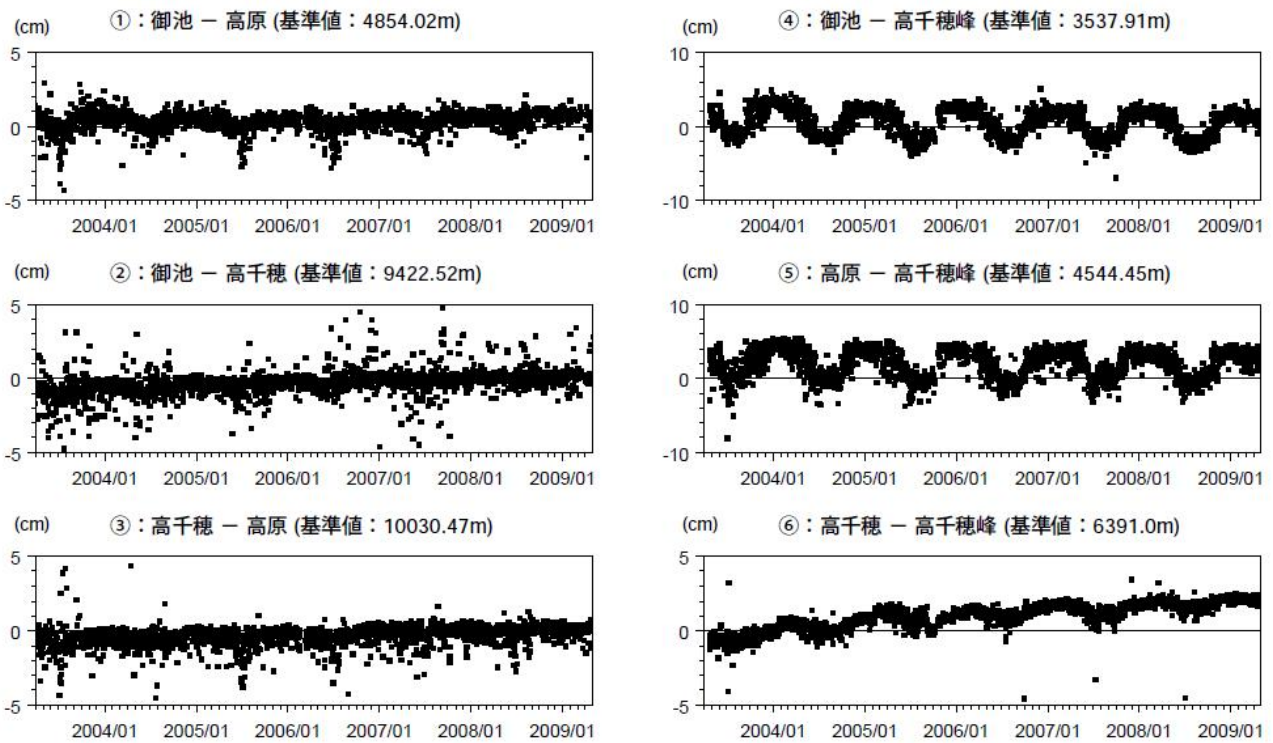


図8 霧島山（御鉢） GPS 連続観測による基線長変化（2003年4月～2009年4月）
GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

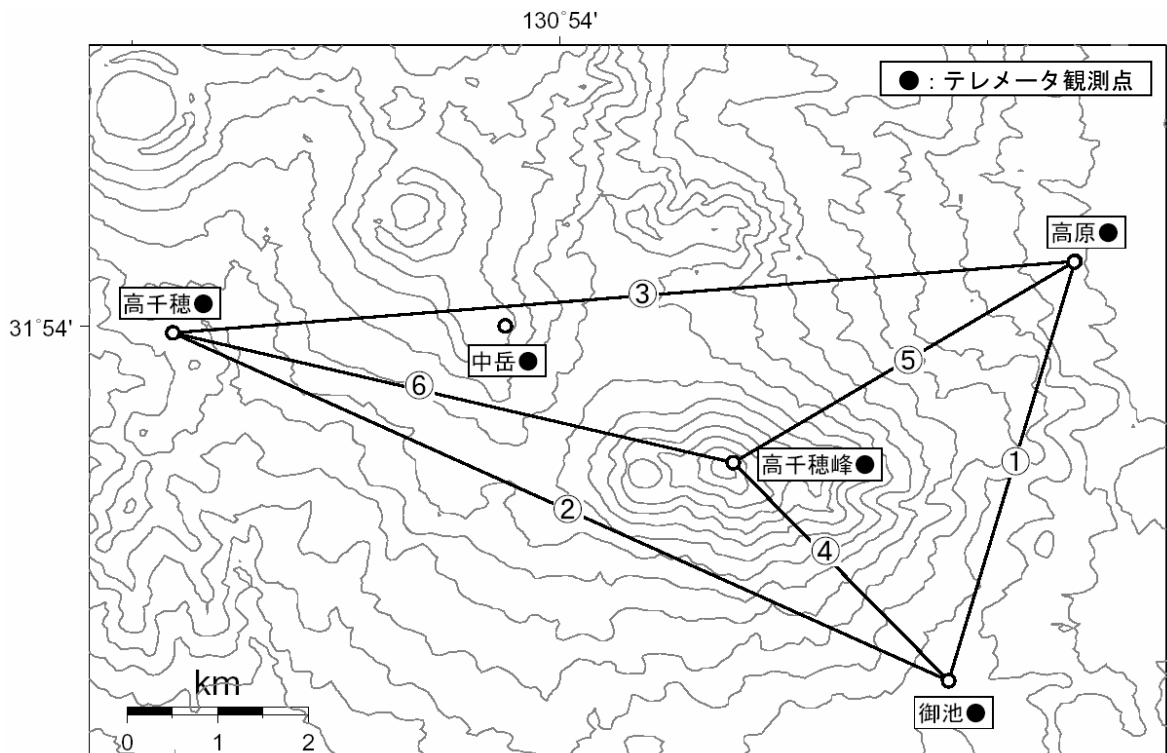


図9 霧島山（御鉢） GPS 連続観測点と基線番号
御鉢を囲んだ観測点の基線による観測を行っています。この基線は図7の①～⑥に対応しています。